


 活水高等学校  
 活水中学校  
 No.40  
 2024年  
 1月17日

# 活ける泉

年間聖句  
 主は人の一步一步を定め  
 御旨にかなう道を備えて  
 くださる。  
 詩編 37編23節

過去と他人は変えられない。未来と自分は変えられる。

校長 安部成年

日本では1月のことを睦月とも言い、その意味・由来等にはいくつかの説があるようですが、「正月に親類一同が集まる、睦び（親しくする）の月」という説が最も有力なようです。皆さん今年もお正月は、家族・親類や友人たちと楽しいひとときを過ごすことができたものと思いますが、世界中の誰もがこのように和やかに新年を迎えることができるように早くなって欲しいと願っています。

さて今回は、前回に引き続き座右の銘シリーズ第2弾として、私が10年ほど前に出会った「過去と他人は変えられない。未来と自分は変えられる。」という言葉について書かせていただきます。

当たり前のことですが、過去を変えることは絶対にできません。起こったことはすべて受け入れるしかないのが人生です。そして過去ほどではないにしても、他人をこちらの思い通りに変えることもできません。ですから、何か問題にぶつかったとき、それを他人や環境のせいにする、その瞬間から問題の解決は難しいものになります。問題が起こったことを他人や環境のせいにして、「あいつが悪いから」とか「あれがないから」と言ったところで人は自分の思い通りになることはなく、不満が増すだけで状況が改善することはありません。

問題を解決していこうと思うのであれば、必要に応じて自分を変えること、自分が主役になって動くことが重要となります。与えられた条件の中で自分にできることやすべきことを主体的に考え、工夫し、努力することで状況を改善していくことができるはず。もし、どうしても他人を変えなければならない状況があるのであれば、そのためのアプローチの仕方などを工夫し自分から調整を図っていかなければならないということになります。このように考え行動することで、未来はより良いものになっていくのではないのでしょうか。

ところで、「過去は変えられない」ということについて、シンガーソングライターであり小説家でもあるさだまさしさんが、その著書に次のように書いておられました。

「過去はもう変えられないと思っているかもしれないけれど、未来が変わることで、過去も変えられるんです。事実は変わらないけれども、過去の持つ意味は劇的に変わっていく。」

高校・大学時代に挫折を経験しながらも今大活躍されている人の言葉だけに説得力がありますね。せっかくなのでついでにこちらにも紹介させていただきました。

年の初めにあたり、今年が皆さんにとって充実した良い年となることを祈念しております。

## クリスマスページェント

12月20日（水）二学期の終業式、クリスマス礼拝、クリスマス・ページェントがチャペルで行われました。クリスマス・ページェントは、御子イエス・キリストの降誕劇です。放送部員によるナレーションと聖書朗読に従い、福音書に書かれた御子降誕に関わる各場面が、配役としてステージに立つ人、重唱や全校生による讃美歌によって展開されました。12月に入って中学1年生から高校3年生までの各学年から選ばれた配役、そして重唱者、各スタッフが準備練習を重ねて備えました。オルガン・吹奏楽部の伴奏により全校で歌声を合わせるの4年ぶり。クラスの終礼時に練習してきたヘンデルのメサイヤ「ハレルヤコーラス」も合唱しました。（石村直義）



（生徒感想）  
 ○活水で大事な一つのイベントだといえるページェントに参加することができたのが、とても嬉しかったです。高校最後のページェントが、今までよりも強く心に残り、いい思い出になりました。ページェントであまり関わる機会が少ない学年やクラスが違う人とも話すことができたので楽しかったです。

○私は、今回初めてページェントに参加しました。セリフだけではなく、放送部の朗読や歌の歌詞に合わせて移動するのが大変でした。羊飼いを演じる中学2年生や1年生と移動するタイミングなどを入念に話し合い、放課後などの練習に取り組みました。自分たちの出番が来るまでは裏でセリフの練習をしたり、移動の仕方を最後まで確認しました。ページェント本番では、自分が思っていたよりも緊張せず練習したことを全て出し切る事が出来たので、良かったです。練習を通して、絆や協力することの大切さを改めて強く感じました。



## 創立記念式典

12月1日（金）午前10時から、中高チャペルにおいて、活水学院創立144周年記念式典が行われました。活水学院は、1879年（明治12年）、創立者であるエリザベス・ラッセル先生が、来日して1週間後の12月1日、女子のための学校を開設、その日、1人の生徒がその門をくぐり、始まりました。今年は学院全体の式典として行われ、湯口院長の式辞の後、卒業生の石山麗子先生（国際医療福祉大学大学院教授）のお話をお聞きました。（石村直義）



活水高校・活水中学校  
公式Instagram



活水の日々の活動はこちら

わたし、輝く。ともに、輝く。  
 高校 特別入試 1月15日（月）  
 高校 一般入試 1月27日（土）  
 中学校 B入試 1月27日（土）

1月行事予定

31 (水)	27 (土)	25 (木)	21 (日)	20 (土)	19 (金)	18 (木)	17 (水)	15 (月)	13 (土)	12 (金)	10 (水)	9 (火)	8 (月)	6 (土)	5 (金)	
高Ⅲ授業終了	高校一般入試	中学B入試	中3薬物乱用防止教室	マイプロシエクトアワード長崎	英検一次	高Ⅲ大学入学共通テスト個人面談	中学百人一首大会	英語中間考査高Ⅱ*授業中実施	自宅学習日(～16日)	高校特別入試	高Ⅱ模試	高ⅠA GTEC	始業式	成人の日	特進ⅠⅡⅢ土曜課外	冬期課外

40分授業・⑦カット  
 高ⅠA 小論文模試  
 大学入学共通テスト(～14日)  
 高Ⅱ模試  
 高ⅠA GTEC  
 始業式  
 成人の日  
 特進ⅠⅡⅢ土曜課外  
 冬期課外




## 今月の聖句

「目標を目指してひたすら走る」フィリピの信徒への手紙3章12節～16節

新しい年になると「今年の目標や夢」を立てる人は多いと思います。しかし残念ながら、時間が経つにつれてそれらを忘れていくこともしばしばあります。それでも私たちは1年の始めや節目節目にもう一度頑張ろう、と思い目標を立て、夢に向かって歩むのです。

フィリピの信徒への手紙の著者パウロの目標は「キリスト」でした。それは「キリストと共に永遠に歩む」ことです。それゆえにパウロは、神に認められるような生き方をし「神の賞を得たい」と願って歩んでいたようです。

夢を持っている人は、生き生きとしています。目標がはっきりしている人は、努力をすることができます。人にとって「目指すもの」があるということは自分自身の成長にもつながります。

新しい一年が始まりました。みなさんは何に向かって歩みを進めていますか。（常泉晶子）

## 吹奏楽部第9回定期演奏会

12月17日(日)、ブリックホールにて「第9回定期演奏会」を行いました。この定期演奏会は毎年恒例のコンサートであり、Ⅲ年生最後のコンサートでもあります。マーチング全国大会後は期末テストだったため、12月1日から急ピッチで準備を進めました。今回はゲストに国際コンクールで優勝されたサクソ奏者の「住谷美帆」さんとのジョイントも目玉でした。保護者の方たちも一丸となって取り組んでいただきました。当日は大変寒い気温となりましたが、会場には1300人を超えるお客様にきていただき大盛況となりました。沢山の拍手をいただきⅢ年生は胸を張って引退しました。今年度の集大成にふさわしいコンサートとなりました。ありがとうございました。(杉町たまみ)



## 九州高校弁論大会 最優秀賞を受賞

私は先日行われた、第7回全九州高等学校総合文化祭弁論部門において最優秀賞をいただきました。私は自分にしか伝えられないメッセージを伝えることができました。これまでの練習の中で何度もアドバイスされた、一番伝えたいことを明確にし、「核兵器廃絶は今を生きるすべての人にとって向き合うべき問題である」と強く訴えることができました。来年の全国大会でも私にしかできない弁論を自信を持って行います！(高川 木場)



## クリスマスバザー

高校3年生フードデザイン選択者で手作りのスノーボールクッキーを販売しました。この売上金は全てクリスマス献金として捧げました。(五貫俊子)

(生徒感想)

〇325袋ものたくさんクッキーを作ったのは初めてでした。腕がきつくなりましたが、みんなで協力し、心を込めて効率よく作ることができました。(高Ⅲ本山)  
〇みんなバザーを楽しみにしてくれていて、当日は多くの方が並んで買ってくれたことが嬉しかったです。また、「おいしかった」などの感想も聞くことができ、頑張って作ってよかったと思いました。(高Ⅲ松尾)



## ナプキンボランティア

昨年度から、誰でも安心して快適に学校生活を送ることができるためのプロジェクト(校内トイレナプキン設置など)を実施しています。今回、ノンポリマーナプキンを提供して下さっている「Femtech Japan (フェムテックジャパン)」のインタビュー取材を受け、取り組みを紹介することができました。全国の学校などでこのような取り組みが広まっていくことを願っています。~キラキラガールズライフプロジェクト~ (濱口末希)



## クリスマス献金

125,153円となりました。ありがとうございました。

\*捧げられた献金は次の施設・団体にお送りしました。日本聾話学校,日本キリスト教協議会,日本キリスト教海外医療協力会,国連難民高等弁務官事務所,チャイルド・ファンド・ジャパンなど全12団体 (五貫俊子)

## 高川いしぶみもり活動

12月6日(水)に高Ⅱはいしぶみもり活動を行いました。被爆遺構やその道すがらをきれいにする活動でそれぞれ爆心地公園、原爆資料館、片足鳥居、城山小学校周辺までの道のりをそれぞれ清掃して回りました。天気に恵まれたこと、いしぶみもり活動の意義を知るために事前学習を平和学習部にしてもらったことで、生徒たちは積極的にゴミを見つけて拾っていました。回収したごみは生徒達で学校で分別して処理しました。(平野智也)



## 英語で会話ができた!

11月30日(木)、中学1年では、次年度活水中学校入学生から導入されるオンライン英会話「My Voice」の体験会を実施しました。これまで育ててきた英語力を駆使して、フィリピンにいる先生とリアルタイムで英会話を楽しみました。最初は緊張して声もあまり出ていませんでしたが、後半は笑い声も上がるなど大いに盛り上がった体験会となりました。1月末までに5回の体験レッスンを予定しています。中1の保護者の皆様のご協力をお願いいたします。(野田定延)

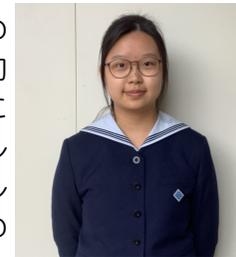


## 中学3年特別行事

11月30日(木)の特別行事で『ながよ光彩会特別養護老人ホーム「かがやき」』を再訪問しました。1学期から総合学習にて福祉の仕事、入居者の方々との関わり方などを学んでいます。今回の施設訪問では体を使ったレクリエーションを通じた交流会を行いました。まずは準備体操に全員でラジオ体操をし、赤・白チームに分かれ、「棒サッカー」、「玉入れ」を行いました。始終、和気あいあいとした雰囲気の中で入居者と生徒たちが楽しく交流する姿がよく見られました。(小西美香)

## 留学生~中国から~

初めての留学、初めての日本の高校生活、そして初めての一人暮らし。活水に来て、新鮮な毎日を過ごしています。日本語を勉強し始めてから、ずっと日本の高校生活に憧れていました。まさかいつか自分で体験できるなんて、本当に奇跡のようです。今ここで過ごしている一つ一つの瞬間が私の宝物だと思っています。活水の皆さんが親切に接してくれたおかげで、素敵な思い出をたくさん作ることができています。活水に来てよかったです!(翁月瑩)  
(国際交流基金 国際対話部 心連心 中国高校生長期 招へい事業第15期生)



## 大会成績等

〈サッカー〉  
JFA第20回全日本女子  
フットサル選手権大会長崎県大会 準優勝  
〈弁論〉  
全九州高等学校総合文化祭 大分大会  
弁論部門 最優秀賞 木場笑里  
(九州高等学校文化連盟会長賞  
2024年ぎふ総文弁論部門出場権獲得)  
〈バレーボール〉  
長崎県ソフトバレーボールフェスティバル  
レディース・フリーの部 優勝  
〈美術〉  
明るい選挙啓発ポスターコンクール  
高校の部 入選 IC 井澤 海帆  
IC 大平 莉舞  
中学校の部 佳作 1年 寺田 茉央  
(山口真樹人)